



ふだん  
来られない  
方々も  
参加で、  
大変な  
盛り上げ!!



\* 詳細については、バザー実行委員までお問  
い合わせください。

収益金 443、477円

今回は、昨年に比べると出店数は減ったもの、賑やかさでは昨年以上だったように感じました。当日の収益が変わらなかったことがそれを表しているようです。ご承知の通り、バザーの収益は「50周年記念事業」の資金として役立てられます。こころの積み立てです。



ヨハネ 大場 正貴

まず、初めに青年会が港教会に行けたのは葛西教会皆さんからのご協力があったことです。本当にありがとうございます。

港教会ではいろんな人が僕たちを暖かく迎えてくれました。食事の用意やバーベキューそして、いろんな所に連れてってくれました。嬉しくてそれに楽しかったです。

港教会のみなさん、本当にありがとうございます。次は葛西教会に来てください☆

一ノ宮 康明

港教会へ行く一番の目的は、平野神父様の御ミサに与ることでした。到着日から最終日まで平野神父様や港協会の信者の方々には大変親切にしてください。是非また港協会へ行きたいと思いました。肝腎の御ミサはあえて信仰のない人の視線からお話しされていて、とても楽しくてわかりやすかったです。国際ミサと日本語のミサを一緒に行うのは港が発祥だと山口神父様に教えていただきましたが、港教会は国籍問わず信者同士の絆が固いと思



いました。また機会があれば、港教会へ行きたいです。また、葛西教会の信者の皆様にも温かい御支援をさせていただきます。誠に感謝しております。今後とも青年会を宜しく願います。

フランシスカ 長谷川 里奈

今回青年会として港教会を訪問し、本当に多くの方々に歓迎していただきました。食事も、神父様や信者の方々が用意してくださり、とても楽しいときを過ごせました。そのように多くの方々に囲まれた時を過ごす中で、キリストを頭として集まった、一つのからだとしての教会共同体の深い繋がりを感ずることができました。生まれた地域も、環境も異なり、初めて会ったにも関わらず、暖かく歓迎していただけるのは、イエス・キリストによって繋がっているためなのだ、強く感じました。



使徒ヨハネ 大津 唯

2014年9月13日(土)〜15日(月)、三連休を利用して葛西教会の青年6名で名古屋・港教会を訪問させていただきました。

港教会では、平野神父様、山口神父様をはじめ、皆さんに大変暖かく迎えていただきました。13日は夜遅くに到着したので寝るばかりでしたが、翌朝は主日のミサにあずかった後、昼食は港教会のお母さん方が準備してくださった食事をいただきました。大勢の方が残って一緒に食事をしてくださいだったので、とても賑やかな時間となりました。午後は教会の近くの名古屋港を案内していただき、夜はバーベキューをして、港教会の青年たちと交流を深めることができました。この日は大勢の青年が集まってくれ、とても貴重な時間となりました。翌15日には、夕方の新幹線の時間まで、平野神父様と港教会の3人の青年と一緒に過ごしてください。港教会の近くにある名古屋港水族館へ遊びに行ったりして、楽しい時間を過ごしました。

青年会ではこれまで葛西教会の中で色々な活動を重ねてきましたが、教会の外へ出かけての活動は、我々の代では今回の港教会訪問が初めての機会となりました。葛西教会とはまた違う雰囲気の中で、信仰を同じくする同世代の仲間と同じ時間を過ごすことができました。とても貴重な経験となりました。

最後に、今回の港教会訪問にあたっては、葛西教会の皆様から様々な形でご支援をいただきました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。



## 洗礼を受けて

フランチェスコディアシジ村上克己  
カトリック葛西教会には1996年からお世話になっており、教会の皆様が親しく接して頂き、受洗を何度も勧められました。家族の中で私一人が長い間、蚊帳の外でした。まだまだ現役で仕事を続けているので、カテキズムの勉強は無理と自ら決めつけていました。

井出ブラザーから日曜の早朝に受洗の為のカテキズムの指導をして頂けることになり、受洗への道が神により敷かれました。教会でカテキズムを学び、お祈りをする心が洗われ、いつも晴れやかな気持ちになれ、不思議な力を教会から頂きました。

受洗の日程が2014年8月31日(日)に決まりました。その前に洗礼志願式でリハールを行ったものの、随分と緊張しましたが無事に洗礼式は終了しました。



その頃、私の体に異変が起こっていたのです。受洗後に、声帯にポリープがあり、喉頭がんであることがわかり、9月19日に切除手術を受けることになりました。手術はいとも簡単に無事終了しました。私の為に、教会の沢山の方々か祈って下さったことを、後日、妻から聞かされました。受洗の恵みを頂戴して、主が守ってくれたのだと思いました。

ほっとしていた頃、聖書朗読の機会を10月5日(日)に夫婦そろって頂戴したことを知らされました。術後は沈黙療養が必要で、大きな声を出さない様にと医師から言われておりました。声帯を一部切除した影響で、朗読の際に声が出るかどうか心配でした。家族からも声が出るの、大丈夫？、と何回も聞かれました。声が出なければ交代してもらえば良いのかな、と話しておりました。祭壇に立ち、ついに皆様の前で朗読です。私が第一朗読、妻が第二朗読です。仕事で話すことは慣れているものの、生まれて初めての朗読です。小さな声でしたが問題なく良い感じで声が出て、落ち着いて普通の気持ちで第一朗読を終える事ができました。

やはり、多数の信者の皆様か、朗読の前から私の為に、お祈りして頂いたことを知りました。家族、教会の皆様か祈りのお蔭です。

神に感謝!!

